

1. 件名：福島第一原子力発電所3号機原子炉注水停止試験の結果に係る面談
2. 日時：令和4年8月9日（火）16時00分～16時50分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
横山係長
高木技術参与（テレビ会議システムによる出席）
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所 担当2名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、福島第一原子力発電所3号機における原子炉注水停止試験（以下「注水停止試験」という。）の結果について、資料に基づき主に以下の説明を受けた。

➤ 今回の注水停止試験結果概要

- ✓ 今回の注水停止試験は、当初最長3ヶ月の期間を想定していたが、今年3月16日に発生した地震等の影響によりPCVからの漏えい量が多くなっており、PCV水位が試験終了の目安としていた計器下端部LS-16-001（T.P. 8264 mm）へ6月14日に試験を開始してから約5日間で到達したため注水を再開し、試験を終了したこと。
- ✓ 漏えい箇所については、今回の注水停止試験中のPCV水位範囲にはなく、LS-16-001（PCV底部から約4.2 m）よりも比較的低い位置であることが推定されること。
- ✓ 注水停止期間中、RPV底部温度及びPCV温度に大きな上昇は見られず、ダスト濃度についても優位な変化は無かったこと。

➤ 今後について

- ✓ 今回の注水停止試験において、漏えい箇所がLS-16-001設置位置に比べ、比較的低い位置にあることが推定されるため、今後、PCV内にはグレーチングなどの干渉物があり容易ではないが、現在よりも低い位置での新規計器設置やPCV水位低下に向けた注水量低減・停止等を検討していくこと。

○原子力規制庁は、上記説明内容について確認し、東京電力に対し以下の点についてコメントした。

- 注水停止後、現在、PCV水位は概ね安定しているが、PCV水位について優位な変動が確認された場合は、速やかに規制庁へ報告すること。
- 現在よりも低い位置へ水位計などの計測機器を新規に設置することについては、早期に検討を進め、検討の進展を適宜規制庁へ報告すること。

6. その他

資料：

- 3号機原子炉注水停止試験結果